

『水戸藩を担った人々』目次

序	宮田正彦	ii
はじめに		5
第一章 水戸徳川家の成り立ち		6
徳川氏までの水戸城		6
徳川家康の水戸重視		8
分家四藩とその位置関係		11
第二章 藩主徳川頼房・光圀父子		15
初代藩主徳川頼房		15
二代藩主徳川光圀		17
三木之次と伊藤玄蕃		18

第三章	水戸藩家臣団の構成	21
	慶長期（一六〇三～一四）	22
	元和期（一六一五～三三）	23
	寛永期（一六二三～四三）	24
	寛文・延宝期（一六六一～八〇）	24
第四章	水戸城下の構築	26
	水戸城	26
	東照宮	28
	水戸東照宮	28
	下町の整備	30
	下町の災害	33
	荒神社の祭礼	33
	関東郡代伊奈備前守忠次と那珂地域	35
第五章	水戸学の興り	37
彰考館		37

弘道館	41
弘道館記	44
弘道館の梅の木	44
偕楽園	47
常磐神社	49
第六章 水戸城下「屋敷割圖」に藩士を追う	51
上町	51
元白銀町	51
結城寅寿	54
田見小路	55
舜水祠堂と青山家	56
仲町	58
永井政介	58
永井芳之助	59
鈴木蘭台	61
南町	62
会沢正志斎	63
吉成又右衛門信貞	67
裡南町	68
田丸稻之衛門直允	68
天野半十郎	71
藤沢町	71

戸田忠敵	72	安島帯刀	74	忠敵と安政の大地震	76
黒羽根町	77				
武田耕雲齋正生	77				
梅香町	80				
藤田幽谷	80	藤田東湖	83	小梅水哉舎の記	84
安政の大地震	86			海江田俊齋との会話	85
鷹匠町	86				
石川久次衛門久徴	87	豊田天功	88	家僕根本正の見た豊田天功・小太郎父子	91
天王町	93				
川瀬七郎衛門教徳	93	原田兵助成祐	97		
金町	100				
市毛幹規	100				
新屋敷	102				
桑原信毅	104	豊田美雄	106	鶉飼吉左衛門	107
金子孫二郎	108				
下町	109				
杉山通り	109				
洪田	112				
宝鏡院	112	白石又衛門意隆	113		
一之町・二之町・荒神町	115				

小宮山楓軒	115
興津藏人	118
常陸山	118
酒井家	119
鈴木靱負	124
石垣橋	125
鼠町・水門町・竹熊町・加良メテ町・馬場・赤沼	125
吉田令世(活堂)	125
額田久兵衛	127
立原翠軒	128
加藤伝九郎	130
松平権蔵	130
杉山千太郎	131
赤沼	133
花畑辻・浮草町・蓮池町・中ノ町	133
小山田軍平	133
清水正健	135
栗田寛	138
坂場流謙	138
加藤寛斎	140
第七章 水戸藩家臣団の抗争	143
弘化甲辰の国難	144
立原翠軒と藤田幽谷の離間	144
斉昭の藩主就任と弘化甲辰の国難	145
結城寅寿一家の悲劇	146
谷田部通義	147
通義の最期	148
密勅降下	151
公家衆内部の混迷	154
密勅をめぐる水戸藩内の混迷	156

天狗・諸生の騒乱	158
藤田小四郎の旗挙げ	158
騒乱の分岐点	161
榊原新左衛門照煦の悲劇	166
田中愿蔵	166
弘道館戦争前夜「重臣たちの攻防」	167
天狗・諸生の慰霊碑	169
「四海皆兄弟」	170
田丸稻之衛門	170
吉田松陰	171
明治天皇の御製から	172
おわりに	174
附 豊田英雄聞き取り書き	176
解題	176
まへがき	177
第一回 昭和十年九月六日	177
第二回 昭和十年九月十二日	182

第三回	昭和十年九月十三日	186
第四回	昭和十年九月十四日	192
第五回	昭和十一年六月十二日	198
あとがき		203